

空から参上！未来のレスキュー隊

SDGsラジオを読んでみよう！

地震や津波はいつ起こるかわかりません。だからこそ、備えておくことが大切。

そこで今、多くのまちでは、まち全体で地震や津波などの災害に備えようとしています。

東京都の渋谷区でも、まち全体での防災に取り組み、みんなで災害について知ったり体験したりする防災訓練など、

さまざまなことを行っています。

まちや住まいをつくる会社「東急不動産ホールディングス」は、そんな渋谷区と力を合わせて、

まちの防災に取り組み、その一つとして地震や津波などが起きたときに役に立つ「災害用ドローン」を使えるようにしています。

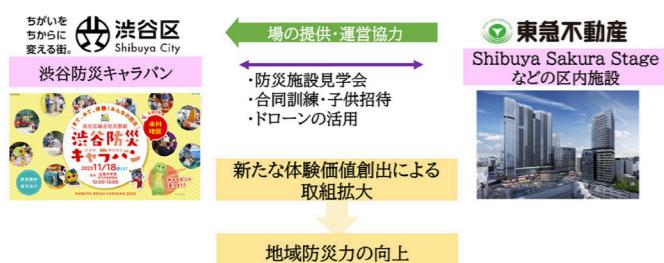
災害用ドローンなら、空からまちのようすを見たり、人が入れないような場所に行けたり、

さらには、暗いところでも見えるカメラもついていて夜でも活動できるんです。

まさに、未来のレスキュー隊ですね。災害用ドローンは、渋谷区の防災訓練でも見ることができたんですよ。

みなさんのまちでは、どんな防災の取り組みをしていますか？

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：渋谷区と東急不動産協力関係の図（東急不動産公式HPより）



災害用ドローンは、地震や津波などの災害が起きたときに使われる特別なドローンです。このドローンは、空からまちのようすを確認したり、人が入れないような場所に行ったりできます。また、暗いところでも見える赤外線カメラを使って、夜でも活動ができるのも大きな強みの一つです。これにより、速く安全に人々を助けることができます。災害用ドローンは、渋谷防災キャラバンでも披露され、たくさんの人の注目を集めています。

画像参照：渋谷防災キャラバンにて災害用ドローンを披露するようす（東急不動産プレスリリースより）

キーワード

地域防災

地震や津波などの災害に備え、まちに住んでいる人々が協力して準備をすることです。避難場所や避難する道を確認したり、防災訓練を行うなど、みんなで安全を守るための活動です。

防災訓練

災害が起きたときに備えて、どう行動するかを練習することです。避難の仕方やけがをした時の手当ての方法を実際に体験し、災害が起きたときに落ち着いて行動できるように準備します。

ドローン

リモコンや自動プログラムで遠くから操作できる小さな飛行機のようなものです。カメラがついていて空から写真や動画を撮影できます。

対象ゴール

11 住み続けられるまちづくりを

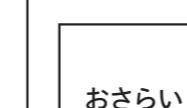


17 パートナーシップで目標を達成しよう



みんなにできること！

地震や津波などの災害に向けて、しっかりと準備しておきましょう。



● 災害に備えて、東京都の渋谷区では「地域防災」を積極的に行っている。

● 東急不動産ホールディングスは渋谷区と協力して、災害用ドローンを使うことに取り組んでいる。

● 災害用ドローンは、これまでできなかった「新しい救助活動」を実現する。

メモ



SDGs ラジオ